

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	航空工学基礎2 (Initial Aeronautical Engineering 2)	授業コード	C173551
担当教員名	林田 和隆		
配当学年	カリキュラムにより異なります。	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	履修時、講義内容及び黒板に書かれた事をメモする事。また航空専門用語が多く使われます。用語を理解するためabbreviation(略語)集を配布。今後色々な授業で利用します。		
受講心得			
教科書			
参考文献及び指定図書			
関連科目			

授業の目的	航空専門誌、雑誌、及び航空機の概要が分かるようになる。
授業の概要	航空工学基礎2は今後航空専門分野を学習するにあたり、その入門編として実施するもので、航空機全般にわたり幅広く基礎知識を身に付けることを目的としています。教科書「航空工学入門」を使用し航空エンジン及び装備品についての概要がわかるようになり、航空工学基礎1、航空工学基礎2を通じて航空機全体の概要が理解できるようにします。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：航空機の運航とは。</b> 運航関係で発着地ブリーフィングから目的地ブリーフィングまでの操縦室のINDICATORの変化、各種用語を覚える。又航空機のINDICATORの名称、気象状況の把握方法、補助翼、アンテナの名称及び働きを理解する。	
<b>第2週：航空機の運航とは。</b> 運航関係で発着地ブリーフィングから目的地ブリーフィングまでの操縦室のINDICATORの変化、各種用語を覚える。又航空機のINDICATORの名称、気象状況の把握方法、補助翼、アンテナの名称及び働きを理解する。	
<b>第3週：航空機の運航とは。</b> 運航関係で発着地ブリーフィングから目的地ブリーフィングまでの操縦室のINDICATORの変化、各種用語を覚える。 又航空機のINDICATORの名称、気象状況の把握方法、補助翼、アンテナの名称及び働きを理解する。	
<b>第4週：航空機の運航とは。</b> 運航関係で発着地ブリーフィングから目的地ブリーフィングまでの操縦室のINDICATORの変化、各種用語を覚える。又航空機のINDICATORの名称、気象状況の把握方法、補助翼、アンテナの名称及び働きを理解する	
<b>第5週：航空機の運航とは。</b> 運航関係で発着地ブリーフィングから目的地ブリーフィングまでの操縦室のINDICATORの変化、各種用語を覚える。又航空機のINDICATORの名称、気象状況の把握方法、補助翼、アンテナの名称及び働きを理解する。	
<b>第6週：航空機の運航とは。</b> 運航関係で発着地ブリーフィングから目的地ブリーフィングまでの操縦室のINDICATORの変化、各種用語を覚える。又航空機のINDICATORの名称、気象状況の把握方法、補助翼、アンテナの名称及び働きを理解する。	
<b>第7週：航空機専門用語について</b>	

MANUALには多くのABBREVIATION(略語)が使用されて記述されている。この略語の意味と、機能について理解して貰う。		
<b>第8週：航空機専門用語について</b> MANUALには多くのABBREVIATION(略語)が使用されて記述されている。この略語の意味と、機能について理解して貰う。		
<b>第9週：航空機専門用語について</b> MANUALには多くのABBREVIATION(略語)が使用されて記述されている。この略語の意味と、機能について理解して貰う。		
<b>第10週：航空機専門用語について</b> MANUALには多くのABBREVIATION(略語)が使用されて記述されている。この略語の意味と、機能について理解して貰う。		
<b>第11週：電気配線についての読み方</b> MANUALの一つにWIRING DIAGHRAMがあるが、WIRINGを理解するためのSYMBOL MARKの種類、SYMBOL MARKの意味を説明し簡単なWIRINGの読み方を理解してもらう。		
<b>第12週：電気配線についての読み方</b> MANUALの一つにWIRING DIAGHRAMがあるが、WIRINGを理解するためのSYMBOL MARKの種類、SYMBOL MARKの意味を説明し簡単なWIRINGの読み方を理解してもらう。		
<b>第13週：電気配線についての読み方</b> MANUALの一つにWIRING DIAGHRAMがあるが、WIRINGを理解するためのSYMBOL MARKの種類、SYMBOL MARKの意味を説明し簡単なWIRINGの読み方を理解してもらう。		
<b>第14週：電気配線についての読み方</b> MANUALの一つにWIRING DIAGHRAMがあるが、WIRINGを理解するためのSYMBOL MARKの種類、SYMBOL MARKの意味を説明し簡単なWIRINGの読み方を理解してもらう。		
<b>第15週：航空機エンジンの種類</b> 航空機のエンジンの種類及びエンジンの現在の問題、失速の種類について学びます。		
<b>第16週：期末試験</b>		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	航空機の色々な名称及び特殊用語を理解している。
<b>【知識・理解】</b>	色々な部品の機能、原理を理解している。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	実際物を見てそれが、なんであるのかがわかる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			10点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。			80点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			10点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。				
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	